



報道機関各位

2025年2月18日
ダイキンオーキッドレディス大会事務局

2025年JLPGAツアー開幕戦 『第38回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』 ～出場選手決定のお知らせ～

JLPGA ツアー2025 シーズン開幕戦『第38回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント (賞金総額 1億2,000万円[優勝賞金2,160万円])』(主催:ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社、以下ダイキンオーキッド)の出場選手が決定しましたのでお知らせします。

今大会には、前回トーナメントレコードを更新して優勝した**岩井千怜**、2024年シーズン年間3勝を挙げメルセデス・ランキング3位の**岩井明愛**の岩井姉妹、歴代霸者で同ランク4位の**小祝さくら**が出場します。また、昨年、念願のツアー初優勝後、国内メジャーを含む年間3勝と飛躍を遂げた**桑木志帆**、5年ぶりのツアー2勝目を挙げた**河本結**、今年は初優勝の期待がかかる**佐久間朱莉**、昨年年間3勝を挙げた**川崎春花**など2024年シーズンを盛り上げたメルセデス・ランキング上位の選手たちがエントリー。さらに、歴代優勝者の**申ジエ**、東京オリンピック銀メダリストの**稻見萌寧**などの実力者が出場します。

地元沖縄県勢では、ダイキン所属の**新垣比菜**をはじめ、琉球放送とスポンサー契約を結ぶ**荒川怜郁**、2019年大会覇者の**比嘉真美子**が出場します。さらに、26大会連続出場となる**上原彩子**のほか、昨シーズン、ステップ・アップ・ツアーで2勝を挙げ、上位争いの期待がかかる**山城奈々や大城さつき**。さらに、ダイキンオーキッドアマチュア選手権の上位4名を加えた10名が出場し、6年ぶりとなる沖縄県勢優勝をめざします。

ダイキンオーキッドは、沖縄から全国に春の訪れとゴルフシーズンの幕開けを告げる大会として親しまれ、今回で38回を迎えます。3月6日(木)から3月9日(日)までの4日間、沖縄県南城市の琉球ゴルフ俱楽部にて開催します。

2025年最初の栄冠をめぐり、総勢108名の選手によって繰り広げられる、華やかで熱き4日間の戦いにご注目下さい。



第38回 ダイキンオーキッド
レディスゴルフトーナメント

JLPGA TOUR OPENING GAME 2025

3/6(木)~3/9(日)

琉球ゴルフ俱楽部

東江咲季(あがりえさき)さん

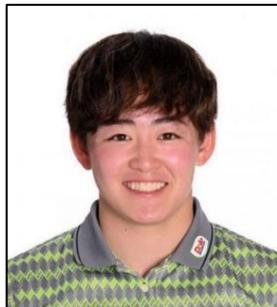
◆国内外での活躍を占う重要な一戦

いまや多くの選手が国内外で目覚ましい活躍を見せる日本女子ゴルフ界において、ツアー全体の競争力は年々、高まっています。多数の海外ツアー経験者がいる舞台での開幕戦制覇はさらなる注目を集めます。



岩井千怜

昨年 12 月の米女子ツアー出場権を懸けた最終予選会を突破し、今季はアメリカに主戦場を置く岩井姉妹。ディフェンディングチャンピオンの**岩井千怜**は、昨季は、開幕戦での優勝以降も好調を維持し、予選落ちは 1 試合のみ。年間 3 勝を挙げゴルフファンを沸かせました。米ツアーベン格参戦 1 年目からの上位争いへ向け、弾みをつけるべく史上 2 人目の大会連覇へ挑みます。



岩井明愛

岩井姉妹の姉・**岩井明愛**は、2024 年シーズンは妹・千怜と同じく年間 3 勝、予選落ちは一度のみと実力を存分に発揮。2 年連続でメルセデス・ランキング 3 位に輝くなど JLPGA ツアーを大いに盛り上げました。海外メジャー・AIG 女子オープン、アムンディ エビアン選手権ではトップ 10 に入り、すでに適応力は充分兼ね備えています。海外でもひけを取らない、攻めるパフォーマンスを武器に大会初となる姉妹での大会制覇をねらいいます。



小祝さくら

JLPGA ツアーを牽引する一人で抜群の安定感を誇る**小祝さくら**は、黄金世代の筆頭格として 2019 年の初優勝から積み上げた勝利は 11 勝。昨年は、今大会を 9 位タイで終えると勢いそのまま 2 戰続けての優勝争いを展開しました。その後はシーズン 2 勝、17 度のトップ 10 に入る活躍を見せ、シーズン最終戦までツアーを盛り上げました。アグレッシブなゴルフを展開し、奪ったバーディー数は 430 とツアー出場選手の中でトップで、誰もが認める実力を存分に発揮しました。自身初の年間最優秀選手へ向けて、重要な初戦を迎えます。



桑木志帆

昨年、大躍進を遂げた**桑木志帆**は、6 月に念願のツアー初優勝を飾ると、国内メジャー 1 勝含むシーズン 3 勝を挙げる活躍を見せました。積み上げた 13 個のイーグルは年間最多記録（※2020-21 年の統合シーズンは除く）を更新するなど、ダイナミックなプレーを武器に JLPGA ツアー最終戦を制し、最高の形で 2024 年シーズンを締めくくりました。今大会では、初出場から 3 年連続で予選落ちと不本意な結果となっているため、さらなる飛躍を求め、開幕戦制覇へ向け照準を定めます。

◆勢いのある若手の活躍に注目

昨年の JLPGA ツアーにおける年間平均ストロークはトップが 69.1478 と 2023 年の 69.4322 を更新し、過去最多となる 52 名がアンダーパーを記録するなど、実力の高さを示す一年となりました。群雄割拠となる 2025 年は例年以上に、ニューヒロイン誕生の気配が早くも漂っています。



佐久間朱莉



政田夢乃

初優勝の期待がかかる実力者では、まず昨シーズンは未勝利ながら 14 度のトップ 10 を記録し、初の海外メジャー挑戦となった AIG 全英女子オープンで予選通過を果たすなど、随所で存在感を発揮した**佐久間朱莉**。ツアールーキーとして迎えた昨年、JLPGA ツアーデビュー戦の舞台でトップ 10 に入り、NEC 軽井沢 72 ゴルフトーナメントで最終ホールまで優勝争いを演じ 2 位となった**政田夢乃**など、1 打に泣かされた昨シーズンの悔しさをバネに、心技体を整えた選手たちが、開幕戦でのツアーチャンピオンをねらいます。



河本結



木下彩

実力者が揃う 1998 年生まれの“黄金世代”からは、昨年、5 年ぶりとなる JLPGA ツアーチャンピオンを挙げ、2024 年メルセデス・ランキング 7 位と 2023 年の 85 位から見事にカムバックを果たした**河本結**をはじめ、ステップ・アップ・ツアーオンラインにおける 54H 最少ストローク (196、通算 20 アンダー)、18H 最少ストローク (60、通算 12 アンダー)、1R 最多バーディー数 (12 個) 更新など記録ずくめで 5 年ぶりのステップ 2 勝目を飾った**木下彩**や**高橋彩華**、**天本ハルカ**、**大里桃子**、**臼井麗香**といった実力者が 2025 年を占う初戦に臨みます。



川崎春花



吉田鈴

竹田麗央らの活躍によって更なる注目を浴びるダイヤモンド世代からは、昨シーズン JLPGA ツアーチャンピオンを挙げ、2024 年メルセデス・ランキング 7 位と 2023 年の 85 位から見事にカムバックを果たした**川崎春花**、吉田優利を姉に持ち、アマチュア時代からツアーチャンピオンを挙げる活躍を見せた**吉田鈴**がプロテスト合格後、ツアールーキーとしてのデビューを飾ります。

◆6 大会ぶりの優勝に期待したい沖縄県勢選手

地元沖縄県勢では、ダイキン所属の**新垣比菜**をはじめ、琉球放送株式会社とスポンサー契約を結んでいる**荒川怜郁**、2019年大会覇者でシード権復帰をめざす**比嘉真美子**、さらに、プロ生活20年を超える**上原彩子**は26大会連続出場となります。そのほか、昨シーズンステップ・アップ・ツアーで年間2勝を挙げた**山城奈々**や**大城さつき**など活躍が期待される選手が揃って出場します。地元の熱い声援を受け、6年ぶりの沖縄県勢優勝をめざします。



新垣比菜

新垣比菜は、所属契約後初めて臨んだ2019年大会で2位、2021年大会は10位タイに入る活躍を見せています。また、昨年は6年ぶりとなるJLPGAツアー2勝目を挙げ、シード選手として2025年シーズンに挑みます。かつて5年連続（2013～2017年）でベストアマチュアに輝くなど好相性の舞台で、所属プロ優勝をめざします。



山城奈々

山城奈々は、2024年はステップ・アップ・ツアーの最終戦である京都レディースオープンで優勝するなど2勝し、良い手応えを残しシーズンを終了しました。その後のQTファイナルステージで19位となり、2025年シーズン前半の出場権を獲得。今大会は2022年の4位タイを上回る成績で念願のJLPGAツアー初優勝をめざします。

また、今年の1月27日、28日に行われた『ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権』では、新垣くららさんが優勝、初めての本戦出場権を獲得しました。続く2位には梅津マユミさんが入り、こちらも初の大舞台への出場を決めるなど、出場171名のうち上位通過を果たした4名（**新垣くらら**さん、**梅津マユミ**さん、**吉崎マーナ**さん、**玉城豪華**さん）が本戦への出場切符を手にしました。ベストアマチュア争いにも注目が集まります。



（写真：左から玉城さん、梅津さん、新垣さん、吉崎さん）

出場予定選手一覧(108名)

■前年度メルセデス・ランキング上位50位までの者

岩井 明愛	小祝 さくら	岩井 千怜	桑木 志帆	河本 結
佐久間 朱莉	川崎 春花	鈴木 愛	高橋 彩華	藤田 さいき
天本 ハルカ	安田 祐香	尾関 彩美 悠	申ジエ (KOR)	森田 遥
吉本 ひかる	イミニヨン (KOR)	青木 瀬令奈	大里 桃子	ペソンウ (KOR)
穴井 詩	蛭田 みなみ	堀 琴音	櫻井 心那	金澤 志奈
脇 元 華	鶴岡 果恋	ウーチャイエン (TPE)	阿部 未悠	小林 光希
小林 夢果	木村 彩子	ささきしようこ	川岸 史果	臼井 麗香
リハナ (KOR)	野澤 真央	神谷 そら	柏原 明日架	全美貞 (KOR)
渡邊 彩香	新垣 比菜	山内 日菜子	岡山 絵里	内田 ことこ

■前年度JLPGAツアー競技優勝者で、前号に該当しない者

佐藤 心結 イヒヨソン (KOR)

■JLPGAツアーで30勝した者

不動 裕理

■公式競技で優勝した者

永峰 咲希

■2020東京オリンピック銀メダリスト

稻見 萌寧

■前年度週番号第46週に開催されるJLPGAツアー競技終了時点のメルセデス・ランキング51位から55位の者

木戸 愛 仁井 優花 笠りつ子

■前年度JLPGAステップ・アップ・ツアー賞金ランキング上位2位までの者

権藤 可恋 木下 彩

■QTランキングリスト上位者

永井 花奈	森井 あやめ	篠崎 愛	サイベイイン (TPE)	小瀧 水音
永田 加奈恵	吉本 ここの	政田 夢乃	高久 みなみ	辻梨恵
岸部 桃子	大出 瑞月	徳永 歩	安田 彩乃	セキユウティン (CHN)
下川 めぐみ	入谷 韶	山城 奈々	菅楓華	永嶋 花音
小野 祐夢	高野 愛姫	三ヶ島 かな	清本 美波	香妻 琴乃
工藤 優海	横峯 さくら	葭葉 ルミ		

■次点補充者

仲村 果乃 沖せいら 後藤 未有 泉田 琴菜 藤田 かれん
奥山 友梨 吉田 鈴

■主催者推薦選手

荒川 怜郁 比嘉 真美子 原江里菜 田辺 ひかり 山路 晶
瀧澤 莉絵留 大城 さつき 西山 ゆかり 金田 久美子 堀奈津佳
上原 彩子 山口 すず夏 工藤 遥加 上久保 実咲 @新垣くらら
@梅津マユミ (USA) @吉崎マーナ @玉城豪華

注釈①: (KOR)…韓国、(TPE)…チャイニーズタイペイ、(CHN)…中国、(USA)…アメリカ

注釈②: @…アマチュア選手

注釈③: 太字は沖縄選手

2025年2月18日現在

今年ダイキンオーキッドレディスで達成が期待される記録集 ※2/14 エントリー時点

■生涯獲得賞金 ●円突破

氏名	突破賞金額	現在賞金額	突破まであと	最低達成条件	達成試合数	
鈴木 愛	1,000,000,000	996,784,638	3,215,362	単独8位以上	305試合目	史上8人目
穴井 詩	600,000,000	585,493,874	14,506,126	優勝	482試合目	史上27人目
ペ ソンウ	400,000,000	392,556,626	7,443,374	単独3位以上	161試合目	史上66人目
森田 遥	400,000,000	381,074,980	18,925,020	優勝	270試合目	史上66人目
高橋 彩華	400,000,000	379,977,000	20,023,000	優勝	223試合目	史上66人目
三ヶ島 かな	300,000,000	290,078,226	9,921,774	単独2位以上	278試合目	史上106人目
永井 花奈	300,000,000	282,996,578	17,003,422	優勝	284試合目	史上106人目
サイ ペイイン	200,000,000	195,700,801	4,299,199	単独6位以上	258試合目	史上159人目
佐久間 朱莉	200,000,000	194,761,087	5,238,913	単独5位以上	118試合目	史上159人目
吉本 ひかる	200,000,000	191,801,066	8,198,934	単独3位以上	210試合目	史上159人目
蛭田 みな美	200,000,000	180,420,427	19,579,573	優勝	228試合目	史上159人目
セキ ユウテイン	100,000,000	99,881,029	118,971	予選通過	145試合目	史上248人目
鶴岡 果恋	100,000,000	98,537,220	1,462,780	単独16位以上	133試合目	史上248人目
臼井 麗香	100,000,000	96,385,184	3,614,816	単独7位以上	154試合目	史上248人目
山内 日菜子	100,000,000	86,967,201	13,032,799	優勝	130試合目	史上248人目
沖 せいら	100,000,000	86,723,721	13,276,279	優勝	192試合目	史上248人目
後藤 未有	100,000,000	82,000,814	17,999,186	優勝	119試合目	史上248人目
小滝 水音	100,000,000	79,912,011	20,087,989	優勝	138試合目	史上248人目
内田 ことこ	100,000,000	78,872,247	21,127,753	優勝	108試合目	史上248人目
仁井 優花	100,000,000	78,672,378	21,327,622	優勝	77試合目	史上248人目

■その他

トーナメントコースレコード：62 (-10) 2003年 具玉姫

トーナメントレコード：3日間大会 202 (-14) 2008年 宋ボベ、2015年 テレサ・ルー

：4日間大会 270 (-18) 2024年 岩井 千怜

■当週誕生日を迎える選手

3/3(月) 堀 琴音 (26)

3/4(火)

3/5(水) セキ ユウテイン (27)

3/6(木)

3/7(金)

3/8(土)

3/9(日)

大会歴代優勝者一覧

開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア
第1回	1988年 黃 璧洵	±0(216)	-	
第2回	1989年 P.リゾ	-5(211)	-	
第3回	1990年 高須 愛子	-3(213)	-	
第4回	1991年 A.ベンツ	-9(207)	-	
第5回	1992年 P.シーハン	-8(208)	-	
第6回	1993年 城戸 富貴	-8(208)	-	
第7回	1994年 福嶋 晃子	-3(213)	-	
第8回	1995年 M.マクグアイヤ	-6(210)	-	
第9回	1996年 リーウェンリン	-4(212)	-	
第10回	1997年 高 又順	-10(206)	(該当者なし)	
第11回	1998年 金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)	
第12回	1999年 井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)	
第13回	2000年 藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)	
第14回	2001年 不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)
第15回	2002年 藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)
第16回	2003年 不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)
第17回	2004年 宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)
第18回	2005年 藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)
第19回	2006年 西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)
第20回	2007年 米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)
第21回	2008年 宋 ボベ	-14(202)	(該当者なし)	
第22回	2009年 三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)
第23回	2010年 アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)
第24回	2011年 朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)	
第25回	2012年 斎藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)
第26回	2013年 森田 理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)
第27回	2014年 O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)
第28回	2015年 テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)
第29回	2016年 テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)
第30回	2017年 アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)
第31回	2018年 イ ミニョン	-11(205)	@新城莉李亜	-2(214)
第32回	2019年 比嘉 真美子	-5(283)	(該当者なし)	
第33回	2020年	※新型コロナウイルス感染拡大により大会中止		
第34回	2021年 小祝 さくら	-14(274)	@新城莉李亜	+6(294)
第35回	2022年 西郷 真央	-10(278)		-4(284)
第36回	2023年 申 ジエ	-10(278)	(該当者なし)	
第37回	2024年 岩井 千怜	-18(270)	@吉崎マーナ	±0(288)

※第3回は荒天
のため中止

大会レコード

- ・大会コースレコード 62 ストローク 具玉姫【第16回大会(2003年)2日目】
- ・最年少優勝 18歳 262日 宮里藍プロ【第17回大会(2004年)】
- ・最年少出場 12歳 074日 新垣比菜さん【第24回大会(2011年)】
- ・最年少予選突破 14歳 079日 新垣比菜さん【第26回大会(2013年)】

ダイキンオーキッドレディスの歩み(年表)

開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア	大会のトピックス
第1回 1988年	黄 璧洵	±0(216)		-	○LPGAツアーの開幕戦として開催 ○賞金総額4,000万円、優勝賞金700万円 (1988年からLPGAツアー制度を施行)
第2回 1989年	P.リゾ	-5(211)		-	○賞金総額を4,500万円に増額
第3回 1990年	高須 愛子	-3(213)		-	○日本人初のチャンピオンが誕生 ○10月、故・中山泰平氏(元日本興業銀行頭取)の提唱で本土財界と沖縄財界の協力・交流の場として「沖縄懇話会」が設けられる ○賞金総額を5,000万円に増額
第4回 1991年	A.ベンツ	-9(207)		-	
第5回 1992年	P.シーハン	-8(208)		-	○賞金総額を6,000万円に増額
第6回 1993年	城戸 富貴	-8(208)		-	
第7回 1994年	福嶋 晃子	-3(213)		-	○福嶋晃子が涙のツアー初優勝。20歳8ヶ月6日でのツアー優勝は、当時日本人女子プロ史上3番目に若い記録
第8回 1995年	M.マクアイヤ	-6(210)		-	○オーキッドパウンティの創設
第9回 1996年	リーウェンリン	-4(212)		-	
第10回 1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)		○サブタイトルに「Together with OKINAWA」を掲げる ○第1回ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権大会を開催 ○ボランティアスタッフによる大会運営を開始
第11回 1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)		
第12回 1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)		
第13回 2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)		○宮里藍、諸見里しのぶがプロトーナメントにデビュー ・ダイキンオーキッドレディス(ツアー競技)初出場
第14回 2001年	不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)	○諸見里しのぶが予選を通過 ・アマチュアゴルフ選手権から初の予選通過者が誕生 ・当時のLPGAツアー最年少予選通過記録を樹立(当時14歳7ヶ月)
第15回 2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)	○大会ボスター・デザインの公募を開始 ○地元玉城中学校の生徒を大会に招待
第16回 2003年	不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)	○真玉姫が2Rに2つのツアーレコードを樹立 ・62ストローク/当時18ホールでの最少ストロークを記録 ・11バーディー/18ホールでの最多バーディー数を記録
第17回 2004年	宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)	○宮里藍がプロデビュー後、ツアー初優勝 ・沖縄県勢として初のダイキンオーキッドレディスチャンピオンに
第18回 2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)	○大会サブタイトルを「Ever Onward with OKINAWA」 (沖縄とともに限りなき前進)に変更 ○賞金総額を8,000万円に増額
第19回 2006年	西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)	○諸見里しのぶがプロとして初出場
第20回 2007年	米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)	○米LPGAツアーに参戦中の宮里藍が出場、4位に ○大会史上最多となる29,753人のギャラリーが来場
第21回 2008年	宋 ボベ	-14(202)	(該当者なし)		○宋ボベがトーナメントレコードを更新する14アンダーで優勝 ○米山みどりが最終日の16番ホールでホールインワンを記録。 ホールインワン賞300万円を獲得
第22回 2009年	三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)	○上原彩子が優勝争いを繰り広げ、本大会自己最高となる2位タイに ○比嘉真美子(12位タイ)、森長真理子(53位タイ)と4大会ぶりにアマチュア が複数選手決勝ラウンドに進出
第23回 2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)	○日本ツアー初参戦のアンソンジュが優勝。同年賞金女王に輝く。 (外国人選手の賞金女王は当時ツアーチーム) ○諸見里しのぶが本大会自己最高となる2位タイに
第24回 2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)		○新垣比菜が大会最年少出場記録を更新(12歳74日、小学6年生)
第25回 2012年	斎藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)	○斎藤愛璃が三塚優子と李知姫とのプレーオフを制してツアー初優勝 ○比嘉真美子が16位タイに入り、ベストアマを獲得 ○アマチュアの伊波杏莉が2日目の13番でホールインワンを記録。 規定改正後、アマチュアとして初のホールインワン賞、賞金50万円を獲得
第26回 2013年	森田 理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)	○森田理香子が大会初優勝。同年LPGAツアー賞金女王に輝く ○新垣比菜が28位タイに入り、ベストアマを獲得
第27回 2014年	O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)	○比嘉真美子が2位タイに ○新垣比菜が21位タイに入り、2年連続ベストアマを獲得。諸見里しのぶに 続き、大会史上2人目の記録
第28回 2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)	○新垣比菜が33位タイに入り、大会史上初となる3年連続ベストアマを獲得 ○沖縄県勢では単独の4位に川満陽香理、5位タイに宮里美香が入る
第29回 2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)	○世界基準となる4日間競技に変更 ○賞金総額を1億2,000万円に増額 ○テレサ・ルーが史上初の大会2連覇を達成 ○新垣比菜が4年連続のベストアマを獲得
第30回 2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)	○第30回記念大会として開催 ○宮里藍が6年ぶりに出場 ○新垣比菜が5年連続のベストアマを獲得
第31回 2018年	イミニヨン	-11(205)	@新城莉李亞	-2(214)	○第3日は荒天の為、競技中止。54ホールの短縮競技 ○諸見里しのぶが3位タイに入る活躍
第32回 2019年	比嘉真美子	-5(283)	(該当者なし)		○比嘉真美子が宮里藍以来、15年ぶりの沖縄県勢優勝 ○新垣比菜が所属プロとして初めて迎えた本大会で2位タイに
第33回 2020年					○新型コロナウイルス感染拡大により大会史上初の中止
第34回 2021年	小祝さくら	-14(274)	@新城莉李亞	+6(294)	○1日あたり原則1,000人での有観客開催 ○4人がホールインワン達成。4日間大会で4度記録し最多記録を更新 ○新垣比菜、川満陽香理が10位タイに入る
第35回 2022年	西郷真央	-10(278)	@荒川怜郁	-4(284)	○1日あたり原則3,000人での有観客開催 ○荒川怜郁が10位タイに入り、ベストアマを獲得
第36回 2023年	申ジエ	-10(278)	(該当者なし)		○4年ぶりに観客動員数に上限を設けず有観客開催 ○申ジエが10回目の出場にして、初優勝を飾る
第37回 2024年	岩井千怜	-18(270)	@吉崎マーナ	±0(288)	○この年、ダイキン工業が創業100周年を迎える ○岩井千怜がトーナメントレコードを更新する18アンダーで優勝 ○荒川怜郁が9位タイに入る

2025年JLPGAツアー初戦の模様を沖縄からTBS系列で全国に放映

JLPGAツアー2025シーズンの開幕戦『第38回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』の熱戦の模様は、地上波ではTBS系列28局を結び沖縄から日本全国へ向けて放送します。このほか、BS-TBSでは第2日の金曜日から3日間放送いたします。

【放送予定】

■地上波

3月7日	(金)	25:13~26:13	<RBCローカル>
3月8日	(土)	15:00~15:54	<LIVE/TBS・MBS・RBC>
3月9日	(日)	15:30~16:54	<TBS系列全国ネット>

■B S - T B S

3月7日	(金)	18:30~19:30
3月8日	(土)	19:00~20:00
3月9日	(日)	17:30~18:54

◇ラジオ◇

RBCラジオでは、大会期間中、会場から生中継でダイキンオーキッドレディス情報をお伝えします。

熱戦の舞台は琉球ゴルフ俱楽部

今年も大会の舞台は、沖縄本島南部に位置する琉球ゴルフ俱楽部（沖縄県南城市）です。沖縄ならではのガジュマル、ホルトや椰子といった熱帯植物に囲まれた南国ムードあふれ、東、西、南の27ホールを擁します。海岸線に近いため風が強く吹く日もあり、自然というハザードも魅力の1つです。ダイキンオーキッドレディスでは、1988年の第1回大会から継続して琉球ゴルフ俱楽部にて開催しています。

～琉球ゴルフ俱楽部～

沖縄県南城市玉城字親慶原1番地

開場：昭和52年7月

設計：梅沢 弘 監修：川波義太郎

第38回ダイキンオーキッドレディス 大会実施要項

大会名称：第38回 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント

主 催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社

公 認：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会

後 援：沖縄県、那覇市、南城市、沖縄観光コンベンションビューロー、TBSテレビ

企画運営：琉球放送株式会社

運営協力：株式会社博報堂、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ

開催期日： 2025年3月	3日(月)	指定練習日
	3月 4日(火)	指定練習日・前夜祭
	3月 5日(水)	プロアマ大会
	3月 6日(木)	本大会第1日(予選ラウンド)
	3月 7日(金)	本大会第2日(予選ラウンド)
	3月 8日(土)	本大会第3日(決勝ラウンド)
	3月 9日(日)	本大会最終日(決勝ラウンド)

開催場所：琉球ゴルフ俱楽部

〒901-0608 沖縄県南城市玉城字親慶原1番地 TEL: 098-948-2460

競技方法：4日間 72ホールストロークプレー

36ホール終了し、上位50位タイまでが決勝ラウンドに進出する。最終ラウンド終了時に、第1順位の者が2人以上いた場合は、即日協議委員会が指定するホールにおいて、ホールバイホールによるプレーOFFを行い、優勝者を1人決定する。

競技規則：R&AとUSGAが承認したゴルフ規則(2023年1月施行)とJLPGAローカルルールおよび競技の条件、本大会追加ローカルルールを適用する。

出場資格：JLPGAツアーレギュレーションによる出場有資格者90名

主催者推薦18名(アマチュア含む)

賞 金：賞金総額1億2,000万円 優勝賞金2,160万円

特別賞：優勝副賞／ダイキンルームエアコン『うるさらX』

ダイキンルームエアコン『risora』

ダイキン加湿ストリーマ空気清浄機『加湿ストリーマ空気清浄機』
<ダイキン工業㈱ 提供>

ヤンマープレジャーボート『トップラン FX24EZ.LTD V』

<ヤンマー(株) 提供>

琉球放送賞／特製オーキッド絵模様(東道盆)

沖縄県知事賞／琉球ガラス特製品

チエコ賞／ボヘミアングラス

TV放映：TBS系列全国ネット、BS-TBS

～ Ever Onward with OKINAWA～ ダイキンオーキッドレディスの地域貢献活動

ダイキンオーキッドレディスでは、1997年の第10回記念大会から「沖縄と共に歩み続けるトーナメントをめざしたい」という願いを込めて、大会スローガンに“Together with OKINAWA”を掲げ、地域と一体となった大会運営を続けてきました。2005年大会からは「沖縄とともに限りなき前進」というめざす姿を表現した新しい大会スローガン“Ever Onward with OKINAWA”に変更し、さらに一步進んだ活動をめざしています。

●ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会の開催

アマチュア選手権大会は、第10回記念大会より、地元沖縄県のスポーツ振興を目的に開催され、今回で29回目を迎えました。沖縄県在住または沖縄県出身の女性アマチュアプレーヤーであれば参加することができます。過去28回の大会でのべ5,000人を超える選手が出席しています。

第1回大会を制した新崎弥生が2002年にプロになったのを皮切りに、第3回大会を制した上原彩子、第4回の宮里藍、第5、6、8回と3度の大会を制した諸見里しのぶ、第7回の宮里美香、第18回の新垣比菜、第25回大会の荒川怜郁など本大会の優勝者が次々とプロゴルファーとなり、これまで20名のプロゴルファーが誕生しています。

●「オーキッドバウンティ」～沖縄の文化・スポーツ振興への支援活動～

1995年の第8回大会から「オーキッドバウンティ」の名称で、沖縄県の芸術、文化、スポーツ、教育等の振興を目的として活動している個人・団体の支援を行っております。これまでの支援先は、のべ277件を数え、支援総額は1億8,510万円となっています。今回も前夜祭やプロアマ大会に参加される沖縄と本土の経済人から済財を募り、両主催者の寄付金と合わせて贈呈する予定です。

●大会ポスター・デザインの公募

2002年の第15回大会より実施したポスター・デザインの公募は、沖縄の若い世代の芸術・文化振興に貢献する目的から始めたものです。他トーナメントにない独自の取り組みで、今回で24回目を迎えます。今年も県内の園児から高校生の児童・生徒を対象にポスター・デザイン募集を行い、831点の応募をいただきました。沖縄をイメージさせるものや、ゴルフを連想させるものなど子どもの斬新かつ大胆な発想で描く力作が集まりました。ポスターは全国の各所に掲示し大会を盛り上げると同時に、子どもたちにもダイキンオーキッドレディスや、ゴルフを知ってもらうきっかけとなっています。現在も大会ポスターを一般公募しているトーナメントではなく、ダイキンオーキッド独自の取り組みです。

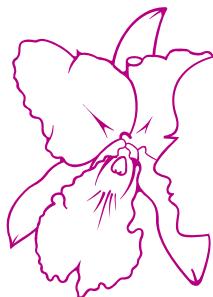
●地元ボランティアスタッフによる大会運営

トーナメント開催コースである琉球ゴルフ俱楽部のある沖縄県南城市（旧：玉城村）を中心とした地元の皆様に、ボランティアスタッフとして大会の運営に参加していただいております。1997年の第10回大会から始まったこの取り組みは、20年以上の長きにわたってご協力いただいている方々もいらっしゃいます。コロナ禍では沖縄県内のボランティアスタッフを中心とした運営となっていましたが、2019年以前同様に全国からの応募を募り、従来の延べ500人規模での大会運営をめざします。

●「総合学習」の一環として地元中学生をトーナメントに招待

大会では、多くの子供たちにゴルフというスポーツの魅力を通じて様々なことを学び感じてもらうことを目的として、2002年の第15回大会より玉城中学校1年生をトーナメント会場に招待しています。日本女子プロゴルフ協会の小林浩美会長をはじめ、大会スタッフによるレッスン会を兼ねた事前説明会を実施し、当日はコースでプロゴルファーの厳しい勝負の世界にふれるほか、トーナメント運営の現場（大会本部、テレビ中継センター、プレスルーム、速報センター、グリーンキーパー等）を見学していただきました。昨年に引き続き、玉城中学1年生160名ほどが会場での総合学習を実施する予定です。

第38回ダイキンオーキッドレディス 大会ロゴ



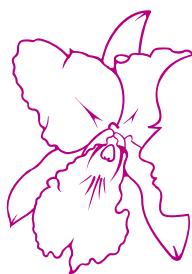
Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid
Ladies Golf Tournament

下記のドロップボックスに、大会ロゴデータおよびポスタービジュアルデータなどをアップロードしております。ご活用ください。

ダイキンオーキッド報道用素材ドロップボックスURL

https://www.dropbox.com/scl/fo/9cb1wpalhua4z9e8sjx5d/AC6mOIEBF1_XYsXDAfsprkE?rlkey=6ekvi0puv0i8c46dpc9f6c1zz&dl=0

＜本大会に関するお問い合わせ先＞

■読者・視聴者用お問い合わせ先

RBCダイキンオーキッド事務局 TEL. 098-988-5000 担当／護得久・前田

■報道関係者からのお問い合わせ先

ダイキンオーキッドレディス大会広報事務局(株式会社エムシーピーアール内)

TEL.03-6277-8760

担当／成願(じょうがん)、鈴木

携帯:090-2447-1069(成願)

090-7769-4376(鈴木)

E-mail:jogan@mcpr.co.jp / suzuki@mcpr.co.jp